



油彩画用筆

ゆさいがようふで

筆先の形状



平筆(フラット)



平筆(フィルバート)



平筆(アングル)



扇型筆(ファン)



丸筆(大)



丸筆(小)



丸筆(小・長穂)

概要

油彩画用筆は、油分と馴染む穂先を持ち、油絵具特有の粘りや透明感などを活かして描くことができる描画材で、穂先には様々な種類の獣毛や形状があり、それぞれ特徴的な描線や塗りが可能です。

穂先に使用される毛には、硬毛と軟毛があります。硬毛の筆は、コシが強く、主に塗り込みや厚塗り、筆のタッチを残す描き方に適し、軟毛の筆は、柔軟性と絵具の含みが良く、筆跡を目立たせず薄く塗る際や細かな描き込みなどに適しています。硬毛の素材は、主に豚毛で、毛の一本一本が硬めで太く、弾力・耐久性に優れ、毛先は2～3本に分かれた枝毛なので絵具の含みがよくなっています。豚毛の多くは中国産で、特に重慶産のものが良いとされ、さらに、加工（晒し）の良いものは、毛色がわずかにアメ色がかかり弾力もあります。軟毛の材質には、セーブル（テンなどのイタチ科の動物）、リス、馬、雄牛、狸などの獣毛と、ナイロンなどの合成繊維があります。特にセーブル毛の中で、コリンスキーと呼ばれるシベリアから中国東北部に生息するテンの毛は、柔軟で穂先のまとまりや絵具の含みが優れていることから、最高級の筆になります。逆に、安価な筆として、ナイロンなどの合成繊維毛を利用した穂先があり、アクリル絵具にも適しています。合成繊維に特殊加工や、獣毛を混合するなどして、獣毛のみの筆に近い使用感を再現したもの（リセーブル筆など）もあります。

描く用途に合わせ穂先のサイズ（大きくなるにつれ号数は上がる）や形状も様々で、主に平筆と丸筆などの形状があります。平筆の特徴は、比較的広い面を均一に塗る際やタッチを活かした塗込み、エッジを使ったシャープな線描など利用範囲が広い事です。さらに、平筆の形状にはフラット型、フィルバート型（フラット型の角がへった形状）、アングル型（穂先を斜めに切り揃えた形状）、ファン型（扇形）などがあり、それぞれ描線や使用感などが異なります。丸筆の特徴は、絵具の含みがよく、筆運びがしやすい形状のため、伸びがあり流れるような線を描くことができます。また、穂先が細いものは、繊細な線や細密な描画に適しています。

筆の使用後は、ボロ布などで絵具を拭き取り、筆洗油で

筆の根本までよく落とします。さらに石鹸などで洗い、十分に乾燥させましょう。また、筆先の絵具が固化してしまった場合は、ストリッパーに浸けることで溶解できます。

油彩画用筆は、一般的な画材店で購入できます。

筆のサイズ(平筆・豚毛)



毛の種類



筆の持ち方



大きなストロークで描く場合



細部の描き込みの場合

描画例



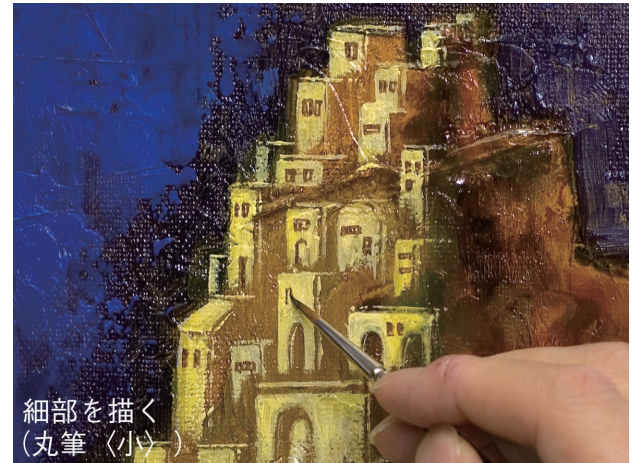
広い面を均一に塗る（平筆）



タッチを活かして塗る（平筆）



エッジを活かした
シャープな線を描く（平筆）



あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

A

B

C

D

E

F

G

H

I

J

K

L

M

N

O

P

Q

R

S

T

U

V

W

X

Y

Z

数字